

五家荘地域複合型輸送システム構築事業

概要

【八代市五家荘】人口363人 151世帯

熊本県八代市内中心部・新幹線駅等から約60kmの遠隔地にある九州最後の秘境「五家荘」には公共交通がないため、観光客や対象地区住民の移動が困難な状況があり、また地場産品や生活物資の輸送にコストがかかることなど大きな課題を抱えている。

本事業は、観光客・住民・地場産品生産者のニーズを満たす複合型輸送システムの構築の可能性について、実証運行実験を含む調査等を実施するものである。

熊本県八代市

観光バスを使った住民の移動の様子(イベント時)



事業の内容

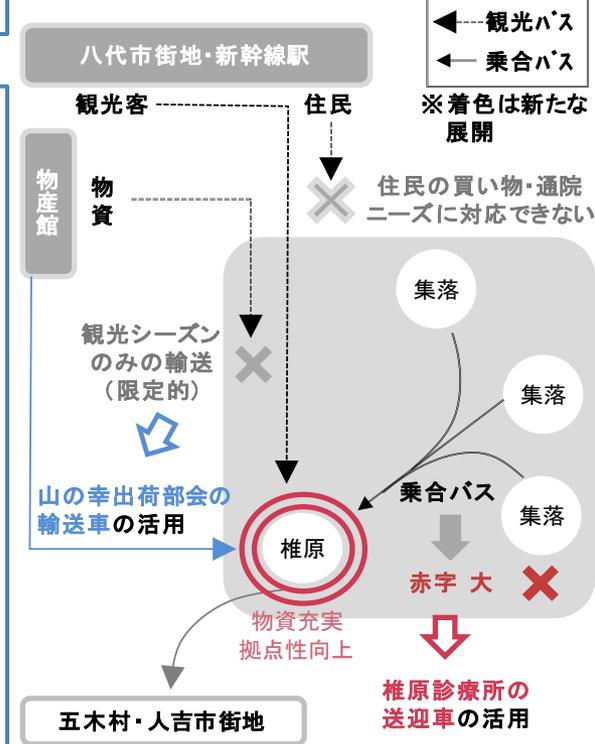
総事業費 8.9百万円

- ◆ 地域における活用可能な資源等の現況調査
- ◆ 住民アンケート調査・地域座談会によるニーズ調査
- ◆ 実証実験の運行計画および広報の立案
- ◆ 観光周遊バス・乗合バス・物資輸送の実証実験 等

◆ 事業のポイント

- ① 「観光バスによる収益事業」により、「住民等への移動支援事業」を自立的・持続可能なシステムとして構築
- ② 五家荘地域振興会の協力

▼ 実証運行結果



事業の成果

◆ 今回の事業を契機に、下記のような取組を地域において新たに検討・展開

観光

【成果】観光周遊バスツアーとのコラボレーションによる五家荘『宿の会』の活性化 (五家荘『宿の会』加盟の民宿への送迎を企画)

【新たな展開】

- ・地域団体(五家荘地域振興会)主導による観光企画・運営実現へ向けた取組開始

住民

【成果】地域における移動困難者への移動支援の今後の必要性を住民が認識 (地域懇談会を通じた意見交換)

【新たな展開】

- ・『椎原診療所』の患者送迎車を活用した住民移動支援策の取組開始 (地域における活用可能な資源等の現況調査により、新たな試みへ展開)
- ・自家用有償運送を実現するためのNPO設立へ向けた取組開始

物資

【成果+新たな展開】

- ・『山の幸出荷部会』における現在の輸送工程の中に、生活物資の輸送に活用できる空き工程を見出し、出荷部会の輸送と合わせて生活物資を輸送する仕組みづくりを支援